

市内の工務店など建設

八日市出町のたくみ工務店は6日までに、県外の建設業者と協力し、カンボジア東部に小学校を建設、寄贈した。屋外で授業を受けている子どもたちの窮状を受けて同工務店の田中懸二社長(37)らが資金を出し合い、文房具や教科書も用意した。現在、子どもたちは完成した校舎で勉強に励んでおり、業者らは今後も支援に取り組みたいと考えている。

整備されたのは、アレン州のトロピアンセッカー小学校舎。鉄筋コンクリート平屋建て延べ床面積約120平方メートル、大教室3室を備える。同工務店などで結成する「安くていい家をつくる会」に所属する国内14の企業経営者が収益の一部を積み立て、建設資金約500万円を用意した。

田中さんによると、カンボジアでは学校の整備が遅れており、トロピアンセッカー小も校舎のない「青鬼教室」で200人以上の児童が授業を受けていた。現地で教育支援に取り組むNPO法人JHP

カンボジアに小学校

「子どもたちの笑顔見ると元気に」



学校贈呈式を終え、校舎の完成を喜び合う児童と田中さん(左手前)
 昨年12月、カンボジア

・学校を作る会(東京)を通して「多数の教室を備えた校舎を建設してほしい」との地元住民の要望を受け、会員が学校の規模などを決めた。

昨年12月に現地で行われた学校の贈呈式には田中さんら会員が出席。国内各地から寄せられた洋服や靴、文房具を教科書とともに児童に手渡し、感謝の言葉が寄せられた。

同会は今後も同小と

「里山博」成功へ結束

金沢・南砺ゆかりの集い

金沢、南砺両市の市民が交流を深める「金沢・南砺ゆかりの集い Part 19」写真展は6日、金沢エクセルホテル東急で開かれた。参加者は金沢の「かなざわまち博」(北國新聞社特別協力)をモデルとして4月に南砺で実施される「南砺里山博」の成功に向け結束することを誓った。

交流会では川合声一実行委員長が「今後も相互の交流を続け、両市の絆をさらに深めてほしい」と述べ、南砺里山博のアピールに努めるとした。田中幹夫南砺市長、山野之義金沢市長が順にあいさつ。

つ。奥田建、馳浩両衆院議員の祝辞に続き、鏡開きが行われた。

交流会に先立ち「猪山直之日記」(時鐘舎新書)著者の石崎建治金沢学院大准教授が講演し、加賀藩の「御算用者」(会計専門の武士)として活躍した直之の息子成之が明治維新以降も活躍したことなどを紹介した。



各団体の連携を誓う出席者(三和公民館)

8団体「連携を」

三和校下

三和校下各種団体合同新年会(本社後援)は6日、上荒屋4丁目の三和公民館で開かれ、婦人会や少年連盟など8団体から83人が出席し、来年度の連携と飛躍を誓った。

桶合隆雄町会連合会長をはじめ、各団体の代表者が順にあいさつし、雪下ろしやカーブミラー清掃など今年度の活動内容を報告した。大滝源夫老人会連合会長の発声で乾杯し、参加者は食事を楽しみながら交流を深めた。

